

キャンプインストラクター養成講習 開催要項



×



×



大阪 YMCA 総合研究所は 日本キャンプ協会課程認定団体 Wilderness Education Association Japan 団体メンバー LEAVE NO TRACE Japan 団体エデュケーショナルメンバーです

- 主催：大阪 YMCA 総合研究所 指導者養成事業部 ※青字はハイパーリンク（サイトへ接続します）
共催：鳥取県キャンプ協会 広島県キャンプ協会西部支部
後援：(公社)日本キャンプ協会
日時：2024年9月14日（土）10時集合～16日（祝）17時解散 2泊3日
会場：大阪 YMCA 呼子キャンプ場 〒689-5532 鳥取県日野郡日南町菅沢 ※公共交通機関なし
対象：キャンプや自然体験活動の指導者を志す 18歳以上の方
定員：20名（最少催行4名）先着順
受講料：20,000円
資格：すべての講習を満実に修了し修了試験に合格された方は、キャンプインストラクター資格を取得することができます
キャンプインストラクター資格継続には毎年度の更新が必要です
年会費 3,000円 + 更新料 1,000円 + 税 + 都道府県協会費 2,000円 = 6,000円 + 税
受講にはテキスト「キャンプ指導者入門」第5版（日本キャンプ協会編）2,200円が必要です
資格取得には登録諸経費 15,300円が必要です
締切：2024年8月30日（金）17時
キャンセル規定を設けています。申込時にご確認ください
申込：申込フォームよりお申し込みください
問合せ：outdoor-training@osakaymca.org または 080-9064-4325（公用携帯）

キャンプインストラクターとは

- ・ (公社)日本キャンプ協会が認定するキャンプ指導者資格です
- ・ キャンパー個人やグループに対して、キャンプのプログラム等の指導を行う役割を担うことができる指導者です
- ・ テキスト「キャンプ指導者入門」を用い、理論10時間、実技10時間を学習します
- ・ 延べ15万人の指導者を養成した独自のカリキュラムによる、スキルとキャンプや集合型研修の強みや効果、参加者への対応、リスクマネジメントなどについての知識をもっています

YMCAが実施する講習の特徴

- ・ 指導法、環境倫理、安全のグローバルスタンダード有資格認定指導者が全人的に指導します
- ・ キャンプ場での理論と野外生活技術を身につけます
- ・ 野営地への野外遠征で1泊し国際基準の野外スキル (WEA6+1) を体験します
- ・ 野外遠征を通じてキャンプ指導者としての知識と技術を実践的に習得します
- ・ WEAカリキュラム(WEA6+1)を通じて、野外遠征の魅力を人に伝えることができます
- ・ WEAのアウトドアリーダーエクスペリエンス修了証（無料、期限なし）を取得できます
- ・ 1年間のWEAJの準会員の権利（実質5,000円の価値）が得られます
- ・ 環境倫理プログラムリーブノートトレイスを体験しワークショップ修了証を取得します
- ・ 食事はグループ調理と受講者自身が食材を持参するソロクッキングです
- ・ 野外装備（リュック、テント、マット、寝袋、バーナー、コッヘル）は持参/無料で貸し出しします
- ・ 講習終了後も専用サイトで学びをサポートし、救急法やリーブノートトレイス講習の案内や指導機会の提供、D2、D1取得への支援をします



内容

- A. キャンプインストラクター養成 — 日本キャンプ協会
1. 理論 キャンプの特性、キャンプの対象、キャンプの指導、キャンプの安全
 2. 実技 様々なアクティビティ、キャンプの生活技術、キャンプの安全
- B. アウトドアリーダーエクスペリエンス — Wilderness Education Association Japan
国際基準の野外スキル(WEA6+1)の体験と理解 A.-2.を通して
- C. リーブノートトレイスワークショップ — LEAVE NO TRACE Japan
リーブノートトレイスの理解とプログラム体験 事前準備、A.-1., 2., 講習全体を通して

撮影について

- ・ 講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、日本キャンプ協会、鳥取県および広島県キャンプ協会、Leave No Trace Japan、Wilderness Education Association Japan の広報に利用する場合があります
- ・ 受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
- ・ 講習の全録画、全録音、リアルタイムでの SNS 等アップは禁止します

ルールとマナー

- ・ 講習会中は終日禁煙です
- ・ 講習会中の外出は原則できません
- ・ 指導者にふさわしい服装、言動をお願いいたします

宿 泊

- ・ 宿泊はテント泊になります。テント、スリーピングマット、寝袋を貸し出します
- ・ 寝袋、スリーピングマットをお持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいて結構です

入 浴

- ・ シャワールームをご利用いただけます
- ・ シャンプー、ボディソープが備え付けであります
- ・ 1日目は近隣の法勝寺温泉で入浴します 入浴料 450 円 ※各自支払い
- ・ 2日目は遠征時は入浴はありません (3日目キャンプ場帰着時に利用可)

そ の 他

- ・ スマートフォン等電波は各キャリアとも弱く特定の場所でのみしか利用できません
- ・ 事務所棟周辺のみ wifi がご利用いただけます
- ・ 周辺にコンビニエンスストアなどはありません
- ・ キャンプの事前準備、キャンプ中の行動は Leave No Trace の 7 つの原理を参考にします

食 事

- ・ 1日目昼食(飲み物含む)は、持参になります。お弁当と飲み物を持参してください
- ・ 1、2日目夕食、3日目朝食はグループ自炊となります。材料は提供します
- ・ 2日目朝食、3日目昼食はソロ自炊となります。食材、調味料等全てご持参ください
- ・ シングルバーナー、コッヘル(1~2人用の鍋)を貸し出します。お持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいて結構です
- ・ シングルバーナーガスカートリッジは有料(660円/1缶)となります
- ・ おいしく必要なカロリーが摂取でき、調理が簡単で、環境への負荷がミニマムになることを考えて、メニューと食材を決めてください。なるべくコッヘル1つで調理できると良いですが、お湯だけ沸かしてレトルトだけ、カップラーメンだけ、缶詰めだけはご遠慮ください
- ・ ソロ自炊はキャンプ場内で行い水道がありますが、ナルゲンボトルに入れて運びます
流しや調理場はありません
- ・ 保冷が必要な食材は冷蔵庫をご利用いただけます。記名したビニール袋などをご準備ください
- ・ お茶、コーヒー等の飲み物をご持参ください。持参する食材と同じく、ごみを出さない/減らす/適切に処理することを考慮したものをお選びください
- ・ 2日目遠征中の昼食はトレイルフードとなります。行動中に補給する栄養価が高く、軽量で腐りにくいもの(魚肉ソーセージ、エネルギーゼリー、アメ、塩分タブレット等)をご準備ください

食事一覧

	1日目	2日目	3日目
朝食	-	ソロ自炊(持参)	グループ自炊(提供)
昼食	弁当(持参)	トレイルフード(持参)	ソロ自炊(持参)
夕食	グループ自炊(提供)	グループ自炊(提供)	

食材の購入・食事作り、メニュー例については、事前に以下の動画（QRコードより）をご覧ください。LEAVE NO TRACE の実践となります。「山飯」等で検索すると他の情報を得られます。

ゴミを出さないために

[#3 キャンプゴミの処理](#) [キャンプでゴミを出さない処理の方法](#)



参考メニュー

[トマトソースパスタの作り方](#)



[ホワイトソースパスタの作り方](#)



[パンの作り方](#)



[おかゆの作り方](#)



持ち物

✓	品目	備考 LNT7原則1 事前の計画と準備
	帽子	雨天時はキャップが便利です。つばがあるものを
	虫よけヘッドネット	必要な人 季節柄顔周辺に虫が多く来る場合があります
	Tシャツ（半そで、長袖）	トレッキングでは着替えが必要となります
	トレッキング用長ズボン	
	トレッキング用靴下	ない場合は丈の長い靴下で
	トレッキングシューズ（運動靴可）	ハイカットでなくても大丈夫です
	リュックサック（小）	テキストや筆記用具を入れて使います
	雨具（上下セパレート）	
	ヘッドライト（予備バッテリー含む）	両手が使えるヘッドライトが望ましいです
	ロープ（長さ 2m,太さ 6mm 以上）	ロープワーク用
	軍手	野外炊事用 綿 100% 滑り止めゴムのないもの
	防寒着	標高 520m 程の場所で活動しますフリース、薄手ダウン等
	筆記用具	
	スマートフォン	
	スマートフォン用バッテリー	講習中コンセントから充電はできません
	タオル	
	洗面用具	シャンプー、ボディソープはあります
	ビニール袋 45ℓ 3枚程度	荷物の防水やごみ入れに
	ジップロック（S,M,L）各2枚程度	トレイルフードを入れたりします
	1ℓ以上のウォーターボトル	ナルゲンボトル がのぞましい
	ファーストエイドキット	
	マッチ（ライター）	
	布巾、雑巾	
	ナイフ（調理用）	
	まな板	
	はし、フォーク、スプーン	使い捨てでないもの
	ゴムへら	
	食器（お皿、お椀など）	
	弁当（1日目昼食）	必ずご持参ください
	自炊食材・調味料（2食分）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	トレイルフード（遠征時昼食）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	保険証	
	受講料、テキスト代、登録料	合計 37,500 円 ※現金のみ 釣銭のないように
	温泉入浴料	450 円 各自支払いとなります

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト（動画）を必ずご覧になり、そのトで各自工夫してご準備ください

[【#1 キャンプの準備の仕方】](#)

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#)



[【#2 登山とテント泊】](#)

[自然に影響の少ない山の登り方とテント設営](#)



プログラム（予定）

1日目 9月14日（土） 日出：5:48 AM 日入：6:15 PM 月齢：11 月出：3:59 AM 月入 0:36 AM		
10:00	集合・受付 開講式 オリエンテーション 人間関係作り 環境倫理	実技【さまざまなアクティビティ】(1.5) ・アイスブレイク 理論【キャンプの特性】(0.5) ・環境倫理
12:00	昼食（持参弁当）	
13:00	生活環境づくり	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・ロープワーク ・テント設営
15:00	講義「キャンプの特性」	理論【キャンプの特性】(1.5) ・意義、目的、歴史 ・現代社会とキャンプ ・体験学習法
16:30	野外炊事	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・野外炊事 グループ炊事 理論【キャンプの指導】(0.5) 理論【キャンプの安全】(0.5) 実技【キャンプの安全】(0.5) ・危険予知とその対処
18:00	夕食 片付け	
19:00	入浴 近隣温泉へ	
21:00	情報交換会	実技【さまざまなアクティビティ】(0.5) 理論【キャンプの安全】(0.5) ・キャンプファイヤー
22:00	就寝（テント泊）	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

2日目 9月15日（日） 日出：5:49 AM 日入：6:14 PM 月齢：12 月出：4:40 PM 月入 0:36 AM		
6:00	起床 朝食 撤収	実技【キャンプの生活技術】（1.0） ・ 野外炊事 ソロ炊事 ・ テント撤収
8:00	遠征準備 装備 読図、コンパス 隊列の組み方	指導・環境・安全総合演習 実技【キャンプの基本装備】（1.0） 実技【キャンプの生活技術】（1.0） 理論【キャンプの安全】（1.0）
11:00	遠征出発	実技【さまざまなアクティビティ】（2.0） ・ トレッキング トレイルフード
12:00	行動食 トレイルフード	
13:00	野営地着 生活環境づくり	実技【キャンプの生活技術】（0.5） 理論【キャンプの指導】（1.0） ・ ロープワーク ・ テント設営
14:30	理論学習	理論【キャンプの指導】（1.0） 理論【キャンプの対象】（0.5） 実技【キャンプの安全】（0.5） 理論【キャンプの安全】（1.0）
17:00	野外炊事	実技【キャンプの生活技術】（1.5） ・ 野外炊事 グループ炊事 理論【キャンプの指導】（0.5） 理論【キャンプの安全】（0.5） 実技【キャンプの安全】（0.5）
18:30	夕食 片付け	
20:00	ミーティング	
21:00	就寝（テント泊）	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム (予定)

3日目 9月16日 (祝) 日出：5:50 AM 日入：6:12 PM 月齢：13 月出：5:15 PM 1:47 AM		
6:00	起床 野外炊事	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・ 野外炊事 グループ炊事
7:30	野営地出発	実技【キャンプの生活技術】(0.5) ・ 撤収
9:00	キャンプ場帰着 装備片付け リフレッシュタイム	
10:00	講義「キャンプの対象」	理論【キャンプの対象】(2.0)
12:00	昼食	実技【キャンプの生活技術】(1.0) ・ 野外炊事 ソロ炊事
13:00	片付け	理論【キャンプの指導】(0.5) 実技【キャンプの生活技術】(0.5)
14:00	講義・演習「まとめ」	
15:00	自習時間	
15:30	修了試験	筆記試験 30問/1時間
16:30	事務手続き 閉校式	
17:00	終了	

※天候等により予定を変更する場合があります

LNT 7 原則

原則 1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則 2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
 - ・キャンプサイトは水辺から 60m 以上離れたところを見つけよう
 - ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう
- よく使われている場所では
- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
 - ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
 - ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう
- ほとんど使われていない場所では
- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
 - ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則 3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから 60m 離れたところを見つけよう
- ・トイレは 20cm 程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から 60m 離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則 4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則 5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則 6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則 7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう